

ゆほびか通信

平成25年 11月号

発行者 エコウイングあかし事務局
 (明石市環境部環境総務課計画係)
 〒674-0053 明石市大久保町松陰 1131
 Tel: 078-918-5029 Fax :078-918-5017
 発行 年4回

エコウイングあかし・エネルギーグループでは**チャレンジ25キャンペーン活動の一貫として、エコドライブ・スマートムーブ活動(かしこい移動)に参加**して、CO₂削減に挑戦していきます。

25年度の活動方針はエコドライブの推進、太陽光発電の啓発や環境家計簿による目で見える省エネとして、地球温暖化の防止に向けて活動していきます。

環境家計簿の活動

「家族が同じ部屋で団らんして 暖房と照明の利用を2割減らす」と、1世帯あたり年間 約240kgの二酸化炭素が削減され、約11,000円の節約になります。(環境省「一人 ひとりの地球温暖化対策」より)

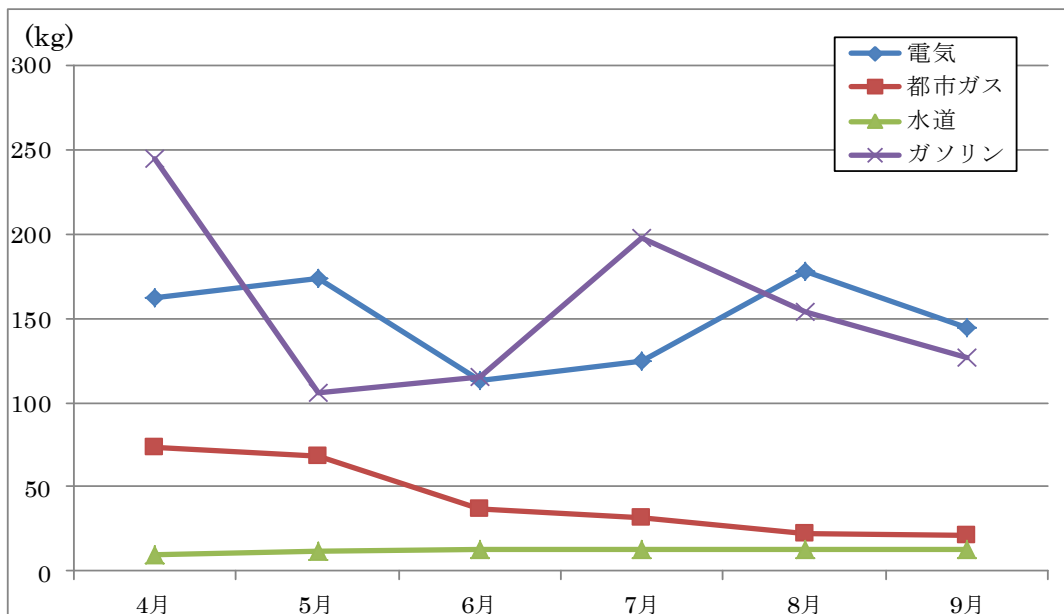
小さな事から実行し、使用した電気・ガス・水道・ガソリン等の月々の使用量から二酸化炭素(CO₂)の排出量を記録し、削減を図ります。下図は会員の25年度の成績です。

- ①冷蔵庫に食品を詰めすぎない。②食器洗いでお湯の温度設定を低めにする。③電気ポットや炊飯器の保温を止める。④洗濯は量をまとめて洗濯回数を減らす。⑤シャワーを出しっぱなしにしない。⑥近い所へは自動車ではなく徒歩や自転車で行く。

平成25年度のゆほびか会員のエネルギー使用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
電気	161.91	173.97	113.58	124.29	177.39	144
都市ガス	73.5	67.725	37.275	31.5	22.575	21.525
水道	9.744	12.3975	12.5425	12.9775	12.9775	12.8325
ガソリン	243.9725	106.2715	114.816	198.0185	154.146	126.6035

平成25年4～9月環境家計簿 CO2 排出量(会員平均)



エコドライブ・スマートムーブ活動の推進

エコドライブ・スマートムーブ活動は日常の運転方法の改善や自家用車の利用を抑えて、公共交通や自転車等の利用に変更して、ガソリンの使用量の削減をはかります。この活動はひょうご環境創造協会と協働で行なっています。

11月9日には、電気自動車で淡路島へのツーリングを実施し、11月23日には、高砂で勉強会を行います。

太陽光発電の啓発

原子力発電に変わる自然エネルギー発電として、太陽光発電や風力発電がありますが、皆様の家庭でも手軽に設置できる発電方法は太陽光が最適だと思います。太陽光発電の有効な活用方法考えていきます。

平成25年(2013年)夏の日本の極端な天候について

今年の夏の暑さは異常でした。その原因を気象庁が9月2日に次のように発表しています。

2013年の夏の日本の天候は、以下のように、極端な天候となりました。(ここで示す地域平均の統計開始は1946年)

<気温>

①夏平均気温:西日本 +1.2℃(統計開始以降第1位)、東日本 +1.1℃(同第3位タイ)、沖縄・奄美 +0.7℃(同第2位タイ)

②日最高気温の記録更新:高知県四万十市江川橋(8月12日、41.0℃)

③今夏に日最高気温の高い記録を更新した地点は143地点(タイ記録を含む)

<大雨>

④日本海側の地方を中心とした多雨:東北地方の7月の降水量平年比182%(統計開始以降第1位)、北陸地方の夏の降水量平年比151%(同第4位)

山口県、島根県、秋田県、岩手県の一部地域では、過去に経験したことのない豪雨に見舞われました。

<少雨>

⑤東・西日本太平洋側と沖縄・奄美の一部地域の少雨:九州南部・奄美地方の7月の降水量平年比11%(統計開始以降第1位)、東海地方の夏の降水量平年比64%(同第3位)

- ・ 7月以降、太平洋高気圧とチベット高気圧の強まりによって、西日本を中心に全国で暑夏となりました。西に強く張り出した太平洋高気圧の周縁を吹く暖かく湿った空気が流れ込んだ日本海側ではたびたび大雨となりました。
- ・ 太平洋高気圧とチベット高気圧がともに優勢となった要因は、海面水温がインドネシア・フィリピン周辺で高く、中・東部太平洋赤道域で低くなったことにより、アジアモンスーンの活動が広い範囲で非常に活発となったこととみられます。

気温の長期変化傾向

都市化の影響が小さい観測地点で平均した日本の夏の平均気温は統計を開始した1898年以降長期的に上昇しており、猛暑日の年間日数は1931年以降増加傾向が明瞭に現れています。これらの傾向には二酸化炭素などの温室効果ガスの増加に伴う地球温暖化の影響が現れているとみられます。

今後の見通し

9月前半の気温は、全国的に平年並みかやや高温傾向が予報されており、晴れた日には気温が高くなりますが、猛暑日が連日続くようなことはない見込みです。

9月の降水量は、平年同様に晴れの日が多い沖縄・奄美で平年並、湿った気流の影響を受けやすい北・東・西日本で多雨傾向の見込みです。なお、向こう一週間(9/3~9/9)は、前線や湿った気流の影響で大雨になるおそれがありますので、注意してください。

ここでは、台風の予報がありませんが、そのご多くの台風が10月に日本を襲ったことで、記録的な大雨になって各地に被害が出ました。